

リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)

必修科目(リハビリテーション科学学位プログラム_博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTE101	リハビリテーション科学基礎論	2	1.0	1	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する文献検索能力を養い、担当教員の専門領域の最新知識および研究方法を習得する。その上で、担当教員の下で研究計画の策定の基礎を学ぶ。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE102	リハビリテーション科学演習I	2	1.0	1	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進める。担当教員の研究指導科目等の概要は下記(研究指導)欄のとおり。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE103	リハビリテーション科学演習II	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進め、論文作成の基礎を学習する。担当教員の研究指導科目等の概要は下記(研究指導)欄のとおり。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE104	リハビリテーション科学特論I	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの収集法を学ぶ。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE105	リハビリテーション科学特論II	2	1.0	3	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの解析法を学ぶ。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE106	リハビリテーション科学特論III	2	1.0	3	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの分析法を学び、論文構成に関して検討する。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。

専門科目(リハビリテーション科学学位プログラム_博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTE201	職業リハビリテーション特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時		八重田 淳	目的・ねらい:職業リハビリテーションに関する文献検索能力を養い、専門領域の最新知識および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文化を目的とする。 授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、人の生涯発達に係わる職業リハビリテーションに関する問題の解決手法の学習を通して研究計画の策定を行う。具体的には、研究計画を設定・実施し、その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して、論文を作成する。 キーワード:文献レビュー、投稿論文作成	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTE202	障害科学特論	1	1.0	1-3	通年	随時		佐島 毅	目的・ねらい:研究テーマに関する論文を読み、聴覚障害・言語障害児者の聴覚・心理・言語学的特性と障害状況・機序、リハビリテーション支援などについての理解を深めると共に、博士論文作成に関連した議論を行う。さらに、テーマに関する文献リストを提出し、先行研究についてレビューを行う過程について学習する。 授業概要:各自の研究テーマについて研究計画書に沿ってデータベース等によって基本的な文献を検索し、文献リストを作成し、最先端の研究動向と問題点についての確に理解する。また、独自の視点と問題意識等を確立し、研究の展開方向を明確化する。文献検索スキルを習得し、文献研究発表会で発表する。その後、総説論文を作成して投稿論文として完成させる。 キーワード:研究計画の絞り込み、文献研究等	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。
OBTE203	発達支援科学特論	2	1.0	1-3	通年	随時		熊谷 恵子	目的・ねらい:発達障害を理解し、どのように支援されるべきかについての文献研究、専門領域の知識および研究方法を習得する。 授業概要:発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても理解を深める。最終的には、発達障害支援科学に関する研究計画を設定・実施し、研究論文を作成する。 キーワード:発達障害、発達支援、文献研究	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。
OBTE206	リハビリテーション科学特別演習I	2	1.0	1	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析に関する論文指導を行う。担当教員の研究指導科目等の概要は下記(研究指導)欄のとおり。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE207	リハビリテーション科学特別演習II	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析結果の考察に関する論文指導を行う。担当教員の研究指導科目等の概要は下記(研究指導)欄のとおり。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE208	リハビリテーション科学特別演習III	2	1.0	3	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	目的・ねらい:リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって論文執筆、まとめに関する論文指導を行う。担当教員の研究指導科目等の概要は下記(研究指導)欄のとおり。	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。 ・リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。
OBTE209	リハビリテーション科学特論	2	1.0	1-3	通年	随時		山田 実	目的・ねらい:各種疾患や社会の諸問題についての理解を深めるとともに、リハビリテーション科学に関わる研究に必要な基礎的な知識を身につける。 授業概要:老年学、リハビリテーション科学領域における文献検索能力の向上、専門領域の最新知識 および研究デザインを習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文文化を目的とする。 キーワード:文献レビュー、研究デザイン、論文作成	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。
OBTE210	教育支援システム特論	2	1.0	1-3	通年	随時		川間 健之介	目的・ねらい:教育に関連する諸問題についての理解を深めるとともに、教育支援システムに関わる研究に必要な基礎的な知識を身につける。 授業概要:小学校、中学校、高等学校および特別支援学校における特別支援教育に関する諸問題を多面的に検討し、科学的な根拠に基づく包括的な教育支援システムのあり方を考察する。 キーワード:教育、支援システム、特別支援教育、小学校、中学校、高等学校	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在生にに限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTE211	ケアマネジメント特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時		小澤 温	<p>目的・ねらい:生涯発達システム領域における専門領域のソーシャルワークおよびケアマネジメントに関する最新知識および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文化を目的とする。</p> <p>授業概要:各自の研究テーマと関連づけながら、ソーシャルワークおよびケアマネジメントに関する課題の学習を通して研究計画を立案する。計画に基づいて研究を実施し、その結果の分析・解析と研究課題に関する文献の検討を通して、学会誌投稿論文執筆に向けた指導を行う。その間、学会発表や中間発表などを通じて、明らかにされた課題を含め、より高度な研究展開と論文の完成を目指す。</p> <p>キーワード:文献レビュー、ソーシャルワーク、ケアマネジメント</p>	・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。